

日本におけるLCIF交付金

50年間に日本に拠出された交付金総額－**US\$40,183,189**

複合地区	交付金件数	交付金額(US\$)
MD-330	88	2,426,519
MD-331	35	940,232
MD-332	107	22,026,663
MD-333	73	2,552,659
MD-334	234	5,226,208
MD-335	96	2,969,509
MD-336	96	1,640,919
MD-337	128	2,400,480
Total	857	40,183,189

■ 日本における MCAT 及び指定災害援助交付金

- ・ 2011年 東日本大震災（330・332複合地区）
 - 100万ドルの MCAT（日本円で約1億1,000万円）
 - 2,080万ドルの用途指定交付金（日本円で約230億円）
- ・ 2012年 九州北部豪雨（337複合地区）
 - 15万ドルの MCAT（日本円で約1,700万円）
- ・ 2016年 熊本地震（337複合地区）
 - 25万ドルの MCAT（日本円で約2,800万円）
 - 3,362,500ドル 益城町学校給食センターに対する用途指定交付金
（日本円で約3億7,000万円）
- ・ 2017年 九州北部豪雨（337複合地区）
 - 10万ドルの MCAT（日本円で約1,100万円）
- ・ 2018年 西日本豪雨（334・335・336・337複合地区）
 - 30万ドルの MCAT（日本円で約3,300万円）
 - 他用途指定交付金 386,902ドル（日本円で約4,300万円）

*MCAT とは大災害援助金の事

*為替レートは約110円にて試算

LCIFの重点分野



視力保護



青少年支援



災害援助



人道奉仕活動



糖尿病



小児がん

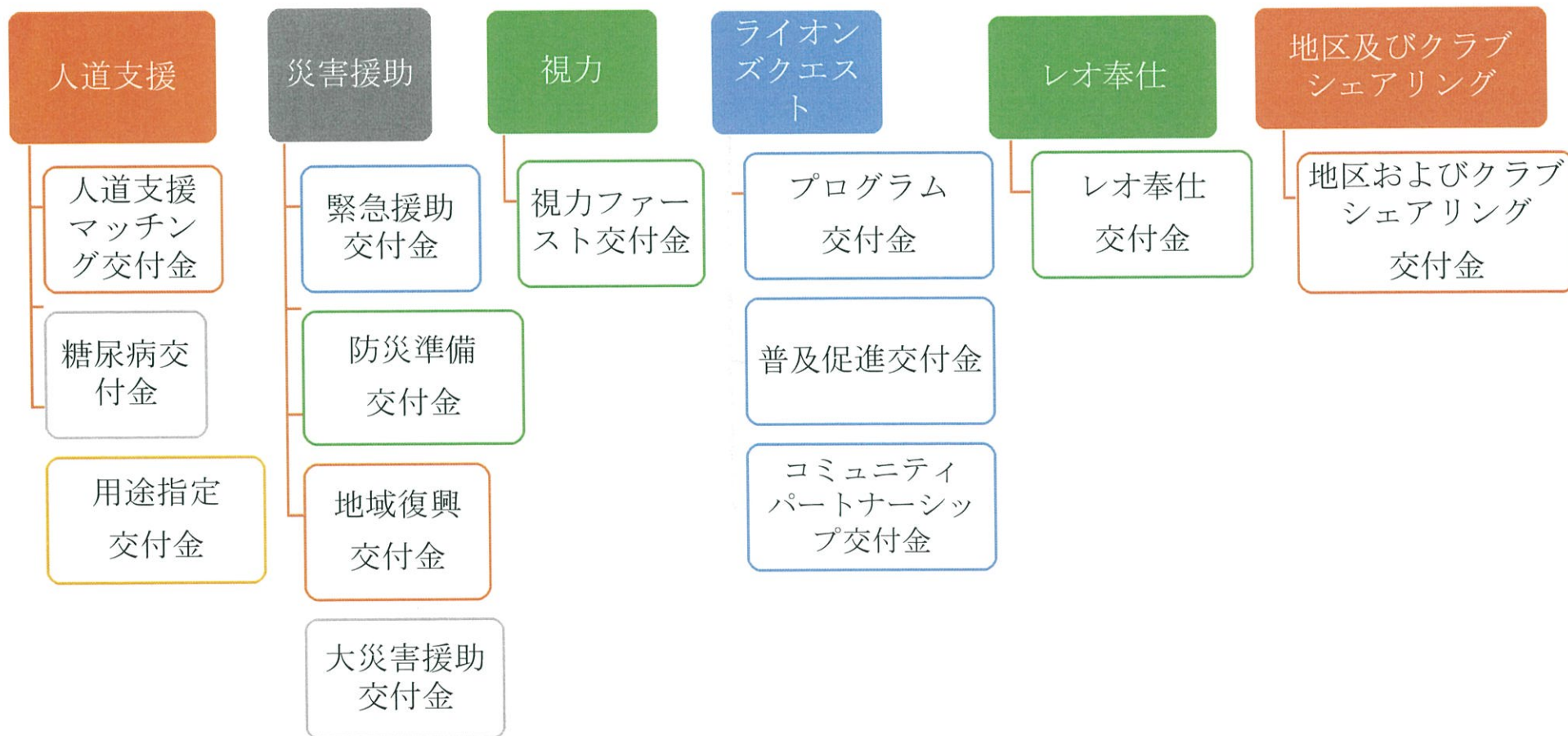


環境保全



食料支援

LCIF交付金の種類



■ 申請手順



1 申請書に目を通す
まず申請書全体に目を通す。

2 すべての質問に回答する
回答はできるだけ詳しく記載する。

3 補足書類を用意する
必要書類は忘れずに添付する。

4 承認
必要な署名と委員会の承認を受ける。

5 申請書の提出
LCIFに申請書を提出する。
申請書の提出期限に注意。

6 申請書の審査
内容確認の質問に答え、必要に応じて修正する。

LCIF交付金の流れ

地域、事業ニーズを評価する。満たされていない人道的ニーズに応えること。

交付金申請書と基準を確認する。

プログラム・スペシャリストと事業案を議論する。

申請書を完成させ、必要書類全てを提出する。

必要な署名を付す。

申請期限まで、LCIFの地域プログラム・スペシャリストに申請書を提出する。

LCIFの地域プログラム・スペシャリストからのフィードバックに基づき、必要に応じて申請書を修正する。

LCIF理事会または諮問委員会が、申請書を審議する。

LCIF理事会または諮問委員会の審議結果が申請者に通知される。

交付金の条件を満たした承認済みの事業に対して、資金が提供される。

事業開始

地域のプログラム・スペシャリストに進捗報告を行う。

事業が完了したら、最終報告書を提出する。

プログラムによって、申請要件や手順が異なります。詳細は、
<https://www.lionsclubs.org/ja/start-our-approach/grant-types>を参照するか、プログラム・スペシャリストにお尋ねください。